

**グローバル時代における
ICT政策に関するタスクフォース
ヒアリング資料**

2010年4月20日

**イー・アクセス株式会社
イー・モバイル株式会社**

多様なブロードバンドアクセスを利用

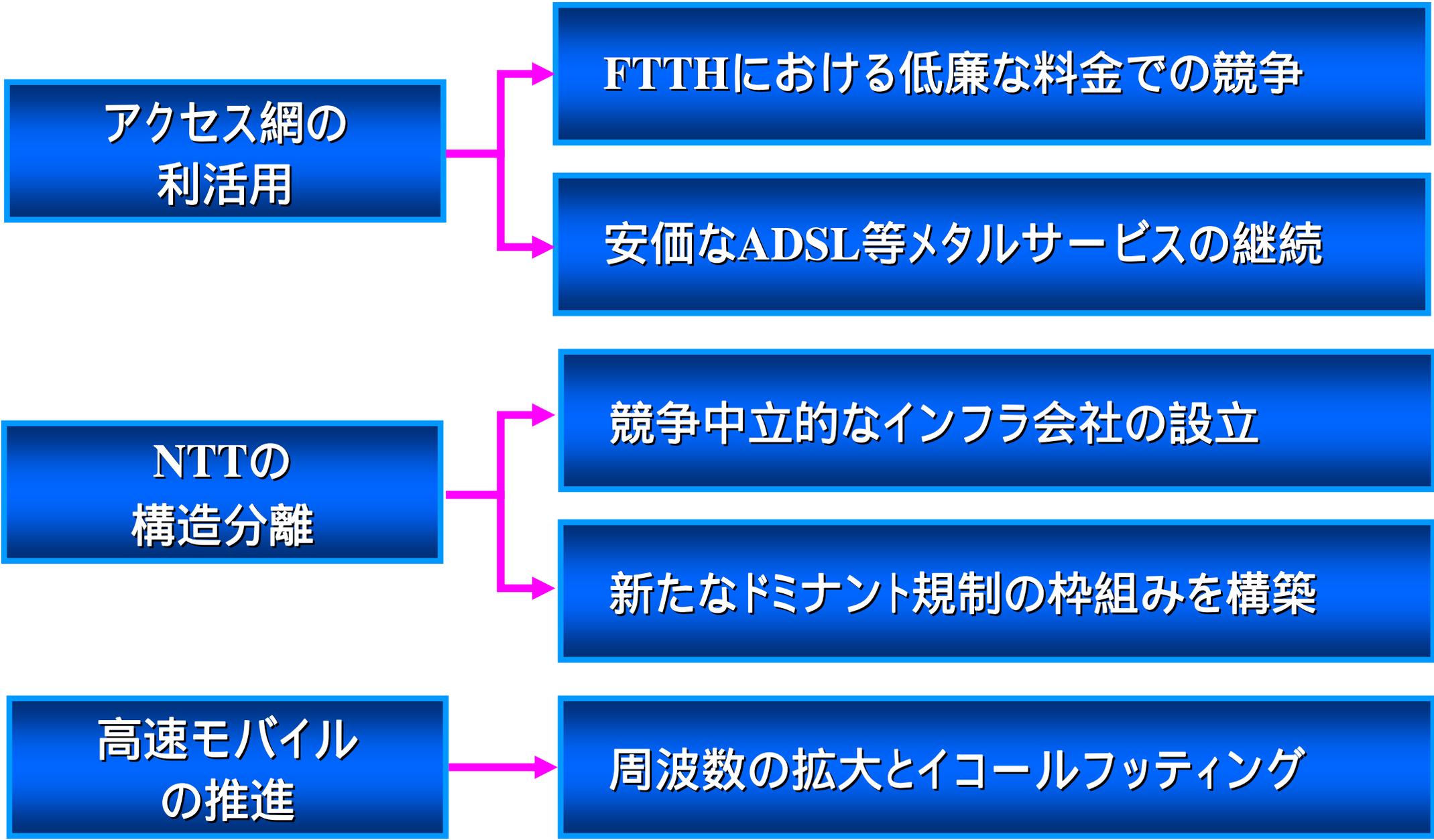
FTTH
大容量

ADSL
安価で手軽

高速モバイル
シームレスで便利



誰でもが何処でも利用シーンに応じて
リーズナブルなブロードバンドを選択



アクセス網の利活用

FTTH

インフラ整備に加えて

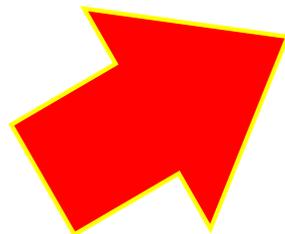
NTT独占から、競争による光ファイバーの利用を開拓

ADSL

当面、安価なADSL等メタルサービスは継続

ブロードバンド普及率
2009年12月

約60%

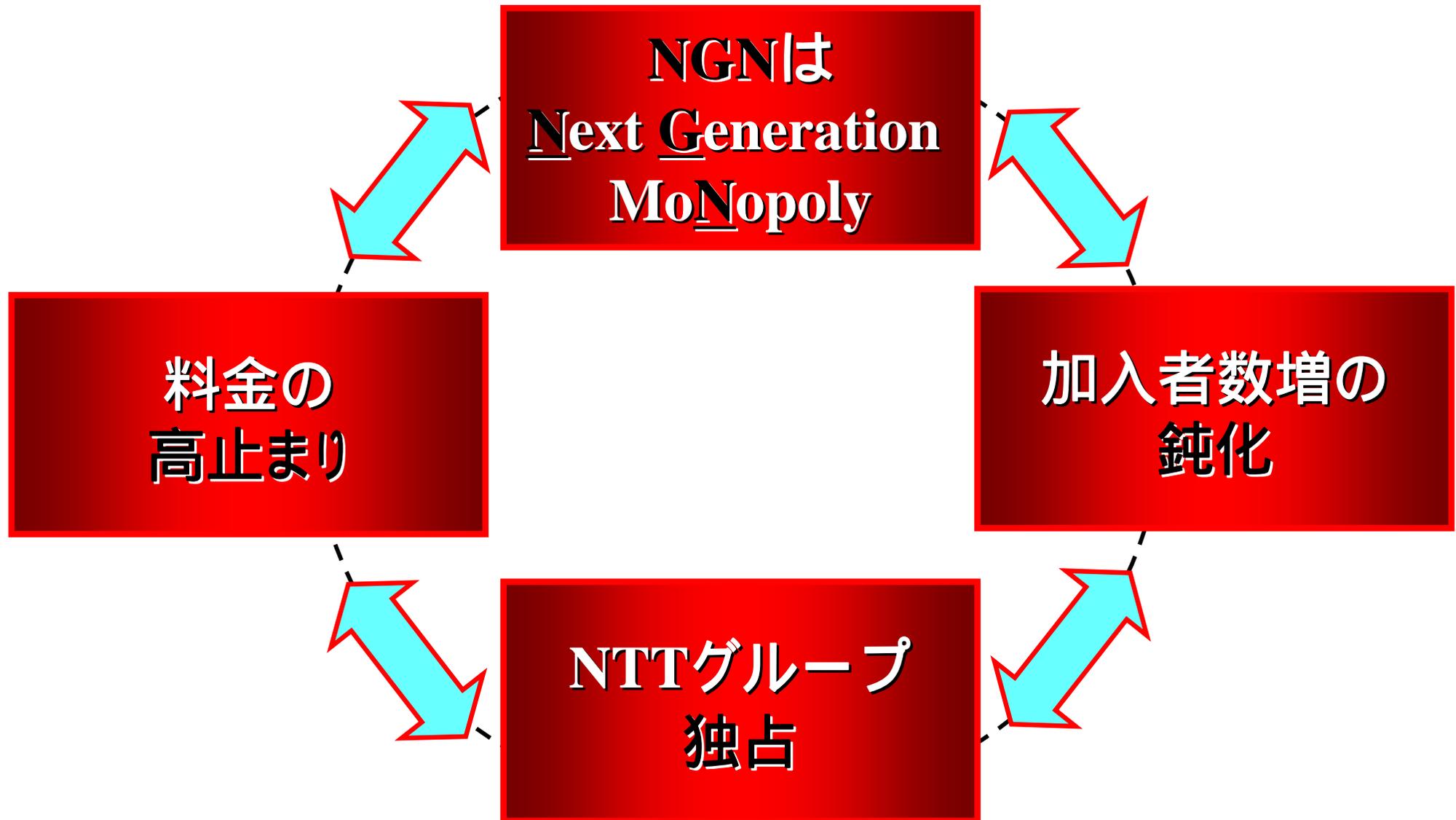


ブロードバンド普及率

100%を実現
世界1位

出所：総務省(FTTH、ADSL、CATVの合計)

FTTH市場は、競争が働いておらず、悪循環



FTTHには、競争が可能なアンバンドルメニューがない

ADSL

	@nifty ADSL(タイプ2)	接続料
ISP接続	¥3,408	-
回線基本料		¥1,394

FTTH

	@nifty with フレッツ	接続料
ISP接続	¥1,260	-
回線基本料	¥4,305	¥4,610

高額な接続料

3倍以上

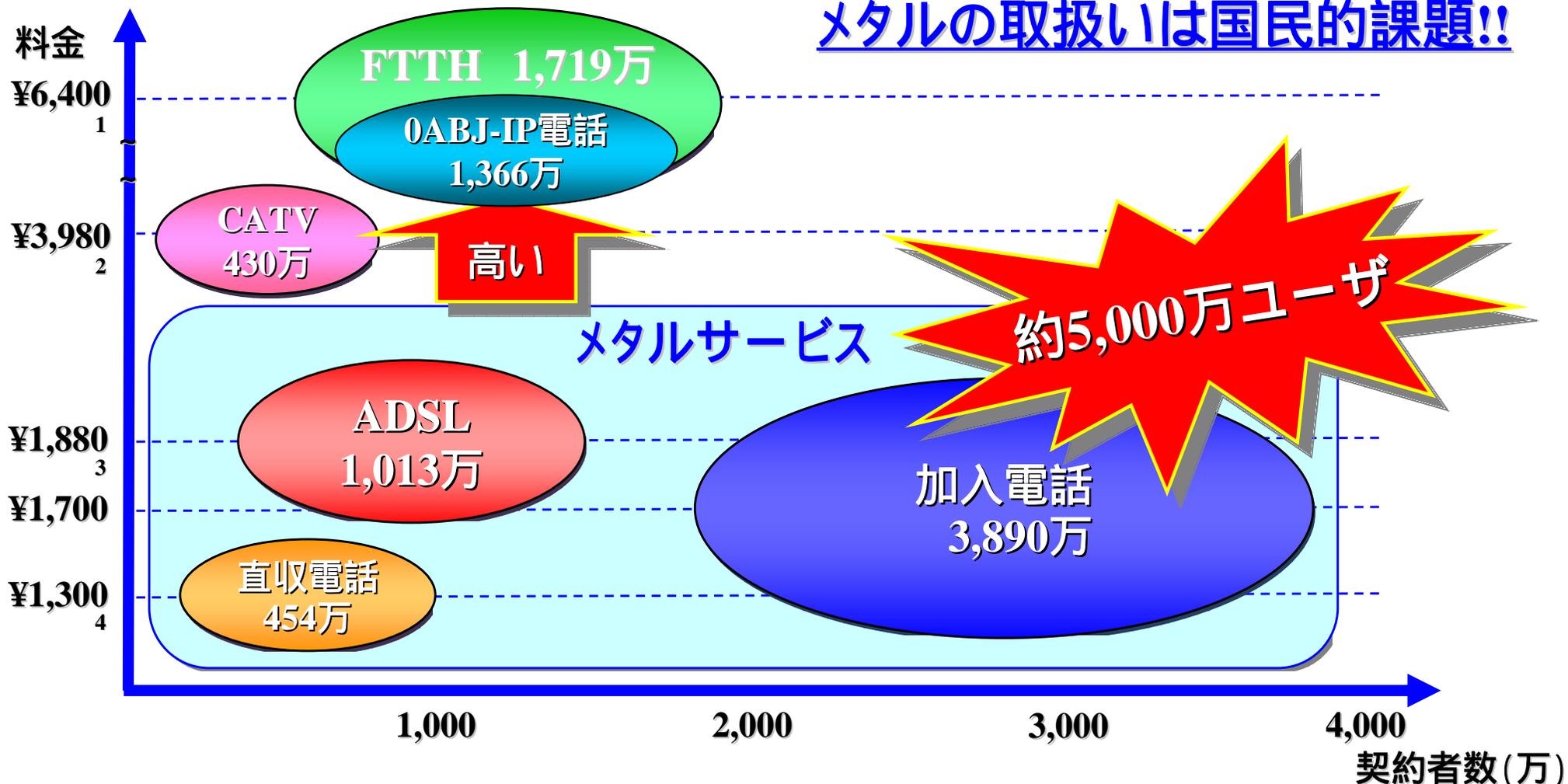
ADSLと同水準の接続料(¥1,394)の設定が必要

各料金詳細(月額)

- ・@nifty ADSL(タイプ2)料金: @nifty ADSL 12M タイプ2 (NTT東日本) ・ADSL接続料: 平成22年度適用 NTT東日本接続料
- ・@nifty with フレッツ料金: @nifty光ライフ with フレッツ ホームタイプ 標準プラン (NTT東日本) ・FTTH接続料: 平成22年度適用 NTT東日本加入者光ファイバ接続料
- ・出所: 各社サービスホームページ、NTT東西接続約款

安価なADSLは、依然としてユーザニーズが高く、当面、継続が必要

メタルの取扱いは国民的課題!!



各料金詳細

- 1 NTT西 フレッツ・光プレミアムファミリータイプの料金。各種割引適用前。ISP料金(ぶらら)、屋内配線利用料、回線終端装置利用料含む。
- 2 JCOM JCOM NET 12Mコース
- 3 EA 12M タイプ1(電話共用型)。ISP料金(ニフティ)を含む。加入電話月額基本料、モデムレンタル料、NTT回線使用料は含まない。
- 4 KDDI メタルプラス KDDIまとめて割引の場合

出所：総務省

メタルにおけるビジネスモデルを「光の道」でも実現

前提条件の設定

ユーザ料金 / 接続料金の同等性

NTTとNCCの同等な競争環境

全国エリアでのサービス提供

メタルからFTTHに向けて、競争の道筋をつけることが重要

一部地域での実施は適切ではない。

NTTの構造分離

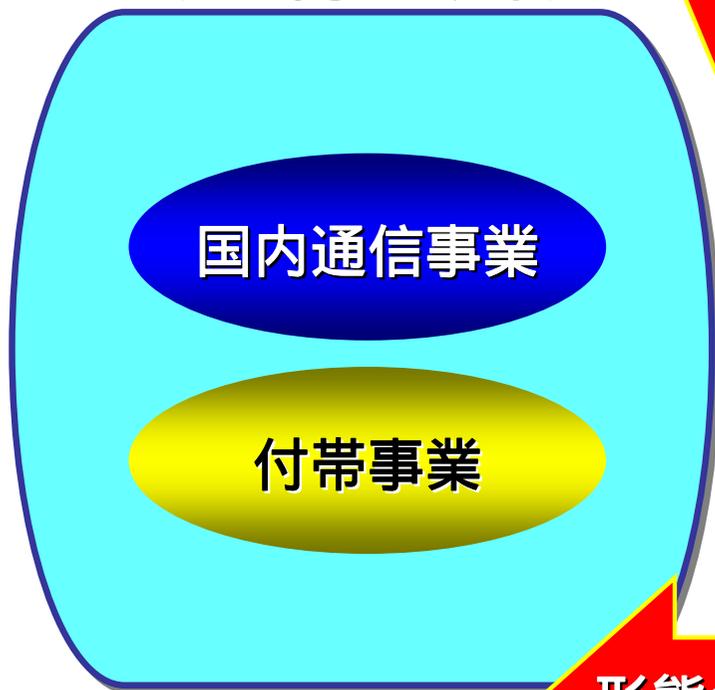
民営化後25年経過しても、NTTの一体化経営とドミナンスは変わらない

1985年:NTT民営化時点

2010年:NTTグループ

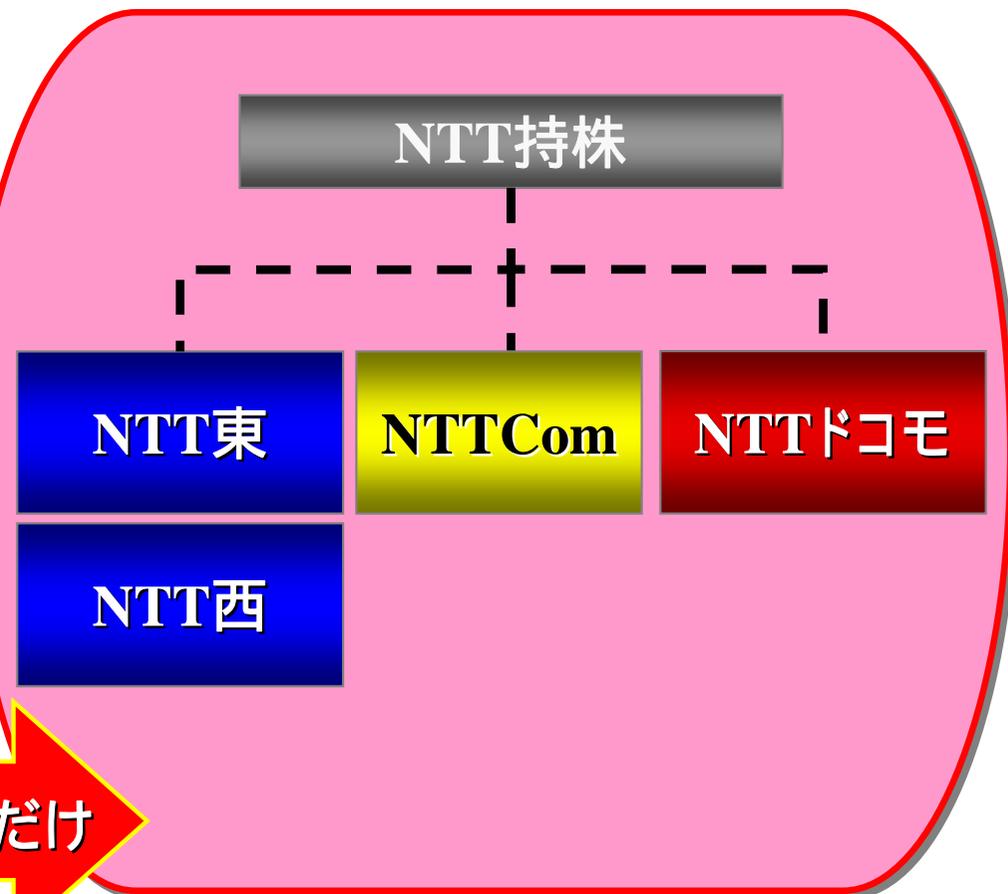
売上高:10.2兆円(2009年度予測値)

売上高:5.1兆円



売上高
2倍

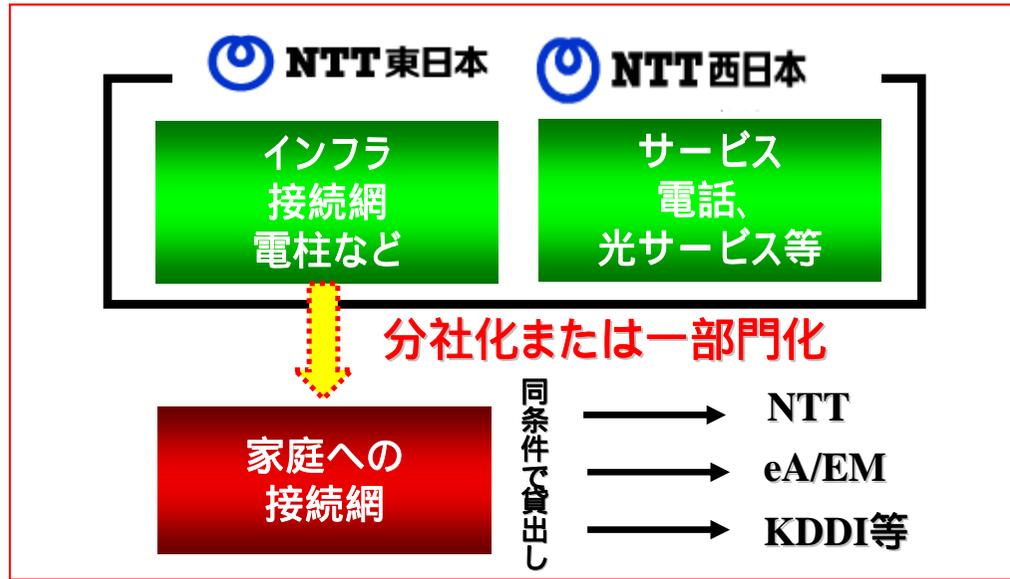
形態が変わっただけ



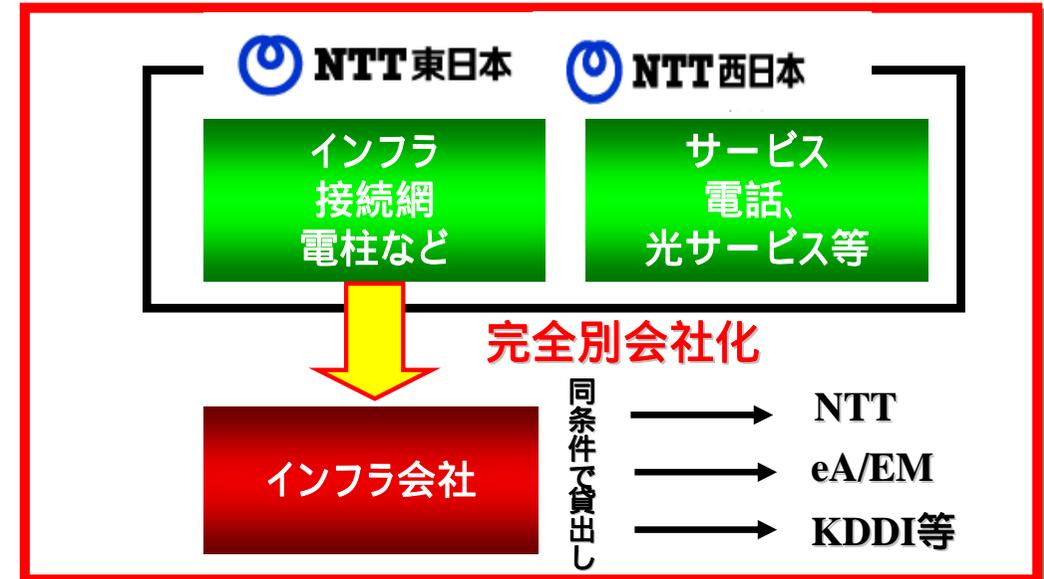
出所:NTT

メリットの多い完全別会社型の構造分離を選択すべき

【機能分離のイメージ(日経新聞記事より)】

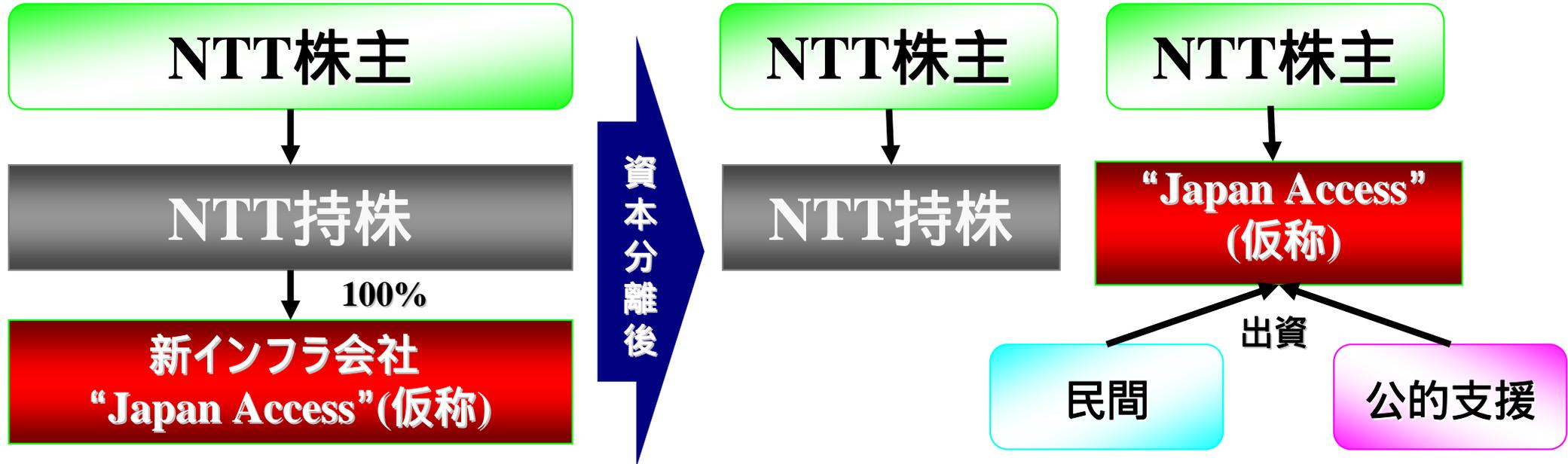


【構造分離のイメージ】

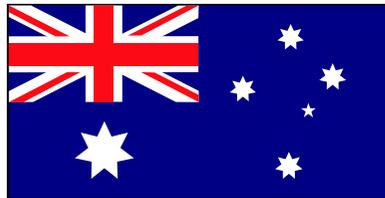


×	公正競争の確保
×	デジタルディバイドの解消
×	ネットワークの移行
×	FMC

民間や公的なサポートも選択肢とすべき

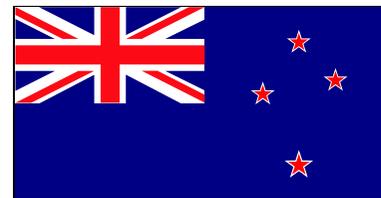


【海外の事例】



オーストラリア
「国家ブロードバンド網構想」
(NBN)

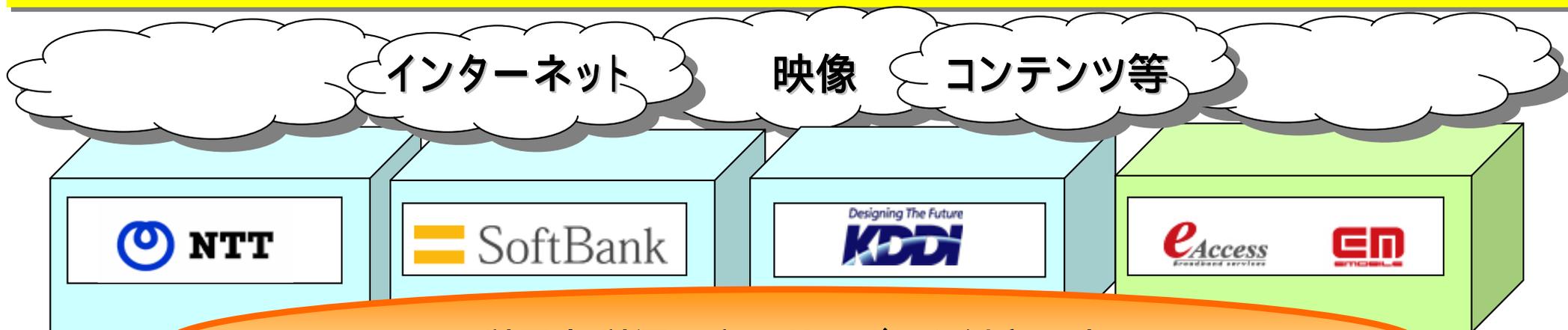
事業規模: 8年間で総額430億豪ドル(3兆5,200億円)
国家ブロードバンド網の建設及び運営にあたる新会社を設立、政府による過半数の株式保有義務あり。
(NBNの整備が完了し、完全に運営されていると通信大臣が宣言したときは、5年以内に政府保有の株式は売却。)



ニュージーランド
「超高速ブロードバンドイ
ニシアティブ」

事業規模: 15億NZドル(975億円)
政府系投資会社(Crown Fibre Holdings)を新設し、他の投資パートナーと共に、官民共同出資のインフラ会社を設立し、全国光ファイバ網を整備。

固定にモバイルインフラも含めた競争中立的なインフラ会社を設立



利用者利便の高いサービスを創意工夫

新インフラ会社 “Japan Access” (仮称)

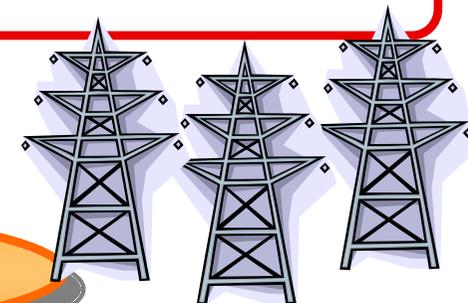
局舎・管路・電柱

光ファイバ(加入・中継)

メタル線

無線

鉄塔等のモバイルインフラ



中立的な立場で、必要な設備を低コストで建設・管理することが可能

FTTHでもラインシェアリングを導入し、サービス競争を促進

メタル回線

料金やサービスも
色々よね！！

マイラインやラインシェアリングによって
サービス毎に事業者の選択が可能



基本料



固定電話

マイライン



ADSL(インターネット)



FTTH回線(現在)

他社サービスも利用
したいのに…

サービス毎に事業者を
自由に選択することが出来ない



ひかり電話



インターネット



放送サービス
etc.

FTTHのラインシェアリングのイメージ

光回線基本料

新インフラ会社
“Japan Access”(仮称)



ひかり電話



インターネット



放送サービス
etc.

NTTのグループドミナンスに対する規制の再構築が必要

構造分離でも、FTTHにおけるNTTの優位性は変わらない



高速モバイルの推進

100Mbpsサービスを促進させる政策が必要

トラフィックが
飛躍的に増大...

新技術に対応した
周波数の割当...

周波数の拡大と競争中立的な周波数割当

デジタル・ディバイド
の解消が進まない...

効率的なインフラ整備のバックアップ

成長戦略を牽引する高速モバイルに向けては、競争中立的な周波数割当が必要

プレミアムバンド

NTT docomo

800MHz
(30MHz)

1.5GHz
(30MHz)

1.7GHz
(30MHz)

2GHz
(40MHz)

130MHz

au by KDDI

800MHz
(30MHz)

1.5GHz
(20MHz)

2GHz
(40MHz)

90MHz

SoftBank

1.5GHz
(20MHz)

2GHz
(40MHz)

60MHz

EN EMOBILE

700/900MHz
(30MHz以上)

1.7GHz
(30MHz)

30MHz



60MHz以上

- ・プレミアムバンドを持たない事業者を優先
- ・LTEで同等のサービス提供が可能な帯域幅を確保

イー・アクセスグループは、

「すべての人に

新たなブロードバンドライフを。」

の目標に向けて取組んでいます。

ご清聴ありがとうございました。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。
